

樹幹巻紙によるカミキリムシ類の産卵防止効果の確認

カミキリムシ類の対策としてサッチューコートSセットが使用されてきたが2026年9月に販売が終了することから、代替となる防除法の検討が必要となった。

他県の試験では、クリの樹幹に紙を巻くことで、シロスジカミキリムシに対し産卵防止効果があることが確認されており、当地域での効果を確認することとした。



新聞紙を巻付けたクリ樹

活動内容

- ・5/8に樹幹の地際から1mの範囲に新聞紙、または米袋を巻付けた樹を3樹ずつ設置。
- ・調査樹の産卵痕数を毎週カウントし、産卵防止効果を確認した。

成果

- ・6/18から新聞紙巻区、米袋巻区ともに被覆場所より上部(未被覆部)で産卵痕を確認して以降、8/6まで産卵は続いた。
- ・新聞紙巻区、米袋巻区とも紙巻部での産卵は無かったことから、紙巻法はサッチューコートSセットの代替技術として有効であることが確認できた。
- ・新聞紙は雨風で破損することがあり、月1回程度の交換が必要となるため、耐候性に優れたコメ袋の使用が望ましい。

